

東青

みどりの通信

No. 93

平成23年
5月10日



東青地域県民局地域農林水産部
■ 農業普及振興室 ■

〒030-0801 青森市新町二丁目4番30号
TEL 017-734-9965 FAX 017-734-8305
E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

新年度に向けて

農業普及振興室長 鈴木 茂

平成23年度の人事異動で三八地域県民局地域農林水産部からこちらに赴任して参りましたので、よろしくお願ひします。

はじめに、このたびの東北地方太平洋沖地震で被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を願っています。

さて、県では生産、加工、流通、販売から観光などのサービスも含めた「6次産業化」により、すべての関連業者の収益力向上を目指すことに軸足をおいた「攻めの農林水産業」を強力に推進しています。当農業普及振興室としましても、東青地域の地域資源である多彩な農林水産物を

最大限に活用しながら、「食産業」の充実・強化を図っているところです。

また、農産物の生産振興に当たりましては、「買ってもらえる産品づくり」を共通認識として米、果樹、野菜、花きの「いいモノづくり」を目指し、市町村、農協、生産者団体の皆さんとの密接な連携のもとに役割分担をして指導をしていきます。

今年は、大震災という試練を背負ってのスタートとなりましたが、農業普及振興室一丸となって、より多くの農家のみなさんに笑顔をもたらせるよう鋭意、取り組んで参ります。

農業普及振興室の組織体制と主な担当業務

農業普及振興室

◇管轄市町村 青森市、平内町、外ヶ浜町、今別町、蓬田村

企 画 班 TEL：017-734-9961 (直通)

◇農業者戸別所得補償制度 ◇トレーサビリティ ◇GAP ◇バイオマス

◇エコファーマー ◇特別栽培農産物 ◇食品表示 ◇食育 他

経 営・担 手 班 TEL：017-734-9990 (直通)

◇経営改善指導 ◇法人化支援・集落営農育成 ◇農業改良資金 ◇地産地消

◇農山漁村女性リーダー育成 ◇新規参入・新規就農者等の育成支援

◇グリーン・ツーリズム ◇担い手の活動支援 他

生 産 班 TEL：017-734-9965 (直通)

◇水稻、畑作、野菜、果樹、花きの振興 ◇畜産関係事業 ◇土づくり

◇土壌診断 ◇冬の農業 ◇あおもり海道そば ◇鳥獣害防止対策 他



農業普及振興室の職員を紹介します！



< 企画班 >



副参事（副室長）
工藤 茂
（班の総括・災害窓口）



主 幹
久保 敬雄
（戸別所得補償対策）



主 査
扇田 琢哉
（トレーサビリティ・GAP）



主 査
阿部 佳枝
（育児休業）



専 門 員
福士 協二
（特別栽培農産物）



専 門 員
葛西 正人
（食育・野菜指定産地）



専 門 員
玉田 裕康
（おもり食産業事業）



臨時事務手
細川 くるみ

< 経営・担い手班 >



総括主幹（副室長）
山内 一肇
（班の総括・経営）



主 幹
新山 節子
（女性リーダー育成）



主 幹
中村 諭
（地域営農企業化）



主 査
竹澤 裕
（4HC・新規就農）



主 査
天内 延子
（グリーン・ツーリズム）



技 師
鈴木 千春
（育児休業）



専 門 員
神 久夫
（経営体育成支援）



臨時事務手
田中 歩



農業普及振興室長
鈴木 茂



<生産班>



総括主幹 (副室長)
立田 久善
(班の総括・畑作)



主 幹
小林 一三
(畜産関係事業)



主 幹
神 俊成
(水稻・農業経営士)



主 幹
高田 浩美
(野菜・冬の農業)



主 幹
前田 亨
(果樹振興)



主 幹
横山 順一
(花き振興)



技 師
秋田 奈津子
(果樹・土壌診断)



技 師
稗 貫雪音
(育児休業)



専 門 員
森川 義雄
(土づくり・鳥獣害防止)



臨時事務手
千葉 翠

■ 春の農作業安全運動 ■

事故の多くは、トラクターでの転落・転倒です。作業時は、周囲に気をくばり、道路・ほ場の端に寄りすぎず、ほ場の出入りや畦畔越えは慎重に行いましょう。

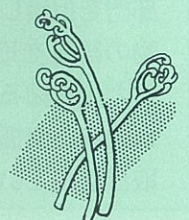
<山火事防止>

山火事の発生原因の約67%はタバコの投げ捨て、たき火、火入れなどの不始末です。一人一人が注意し、恐ろしい山火事を防ぎましょう。



<山菜取り等遭難事故防止>

家族等に行動予定を連絡し、単独の入山はやめましょう。万が一に備えた装備をし、目先の収穫より安全を優先しましょう。



地域農業を担う新しいリーダー 新VIC・ウーマン、新青年農業士を紹介します！

本年2月に、東青管内からそれぞれ3名のVIC・ウーマン、青年農業士が新たに認定されました。今後一層の活躍が期待されています。

■ VIC・ウーマン (3名)



倉内 操 (青森市)
「JA青森女性部フレッシュミズ部会」に設立当初から加入。「焼き肉のタレ」の商品化に成功する等、生産物の高付加価値化や、担い手の育成、イベントを企画し農業の良さをPRする等積極的に活動しています。



辻村 るみ子 (平内町)
「JA青森平内支部女性部」や「同平内支店野菜花卉直売所の会」に所属し、直売活動に積極的に参加しています。また、野菜ソムリエの資格を取得し消費者に野菜の知識や美味しい食べ方を伝えています。



相内 くり子 (今別町)
「大川平加工グループ」結成時から加入し、農産物の加工や地産地消活動に取り組んでいます。また、「今別町野菜の会」にも所属し、町で推進している野菜の産地化や冬季の野菜栽培にも取り組んでいます。

■ 青年農業士 (3名)



大柳 寿秀 (青森市)
農業経営士である父とともに水稲と施設野菜の大規模複合経営を実践。主に施設野菜部門を担当し、特別栽培農産物の認証を取得しています。省力化を図るため、今年から水稲乾田直播栽培に本格的に取り組んでいます。



佐藤 茂 (青森市)
農業経営士である父や母と一緒に稲作と直売所の経営に携わり、主に稲作部門を担当。水稲で特別栽培農産物の認証を取得しています。現在はJAS有機栽培を目指して、チェーン除草の実用化に取り組んでいます。



木村 勝 (青森市)
両親とともに水稲と野菜の複合経営を実践。水稲の機械作業や野菜を担当し、土づくりや土壌病害対策として輪作に取り組み、安全・安心な農業の実践を目指しています。地下かんがい、有機栽培、乾田直播に関心を持っています。